

# 国立科技大学 語文学部

## 教育目標

語文学部（以下、本学部）は、中国語・英語・日本語を活用することができるビジネス人材の育成に重きを置き、地元を根を張りつつ世界へと繋げていく役割を努力目標としている。本学部の教育方針は、学生の言語とビジネスの運用能力を引き上げ、国際的視野をもって社会に貢献できる人材へと育成することである。そのために、本学部では、教職員の国際参与と学術における共同研究を勧め、設備道具のみならず、産業提携にも力を入れている。本学部が台湾中部における実務系大学の語文教育ならびに学術研究と産業提携の指標となれるよう努めている。

本学部は、実践性を重んじており、言語知識にとどまらず、それを応用する技能の習得をも重視している。言語を応用したビジネス人材の育成を本学部の特色とし、また良質の教育課程を提供することで、本学部を出た学生が実際の社会や企業で実力を発揮し、貢献することを強く期している。そのためにも、学生の国内外実習を積極的に取り入れ、国際交流や共同作業などの分配を増やし、学内外の資源を利用し、さらには社会人教育ならびに終身学習の土台も整えていきたいと考えている。

## 未来の展望

### 一、実務に目を添え、未来に目を向けて

（一）時代を先取りする斬新さ：言語的教養とビジネス能力を兼ね備えた多領域人材の育成

大学は、小型の社会に喩えられ、または人材を育てる揺り籠の如く、学生に知識や技能の学習を提供するだけでなく、社会に入る準備段階としての役割も備わっている。その意味においても、本学部が担っている役割は重大で、学生に教育的・人文的・創造的な学習環境を提供することに努めるだけでなく、目まぐるしく変わり行く社会に対応できるように学生を導いていくことも要求されているのである。

（二）多元的な人材の育成：ビジネス・言語・創造力とサービス精神を兼ね備えた人材

本学部は、学生と教師の間を取り持つ土台としての役割を担い、学生が人文教養のある人材へと育つことを期している。また、プロフェッショナルな学習環境と人文色豊かな大学生活の中で、全人教育の価値観を培ってもらいたい。そのためにも、言語学習能力をメインとし、ビジネス実務能力を補助とする教育方針のもと、グローバルな経済産業に対応できるよう全力を惜しまない。言語と技能の統合教育ならびにビジネス人材のニーズ、そしてクリエイティブなサービスへの発展傾向が相伴う社会の就職環境の中、実務型課程の実践が最大の課題となる。

「単位課程化、課程学位化」から更に「課程実習化、カリキュラムライセンス化」へと

進み、学生のみならず、教師の実務教育能力を高め、産業提携を広げ、言語中心の課程の中で、言語によるコミュニケーションとビジネスの専門、実務に対する堅実な態度とクリエイティブなサービス精神を身につけ、人文的な素養とグローバルな視野を兼ね備えた人材へと学生を育成していきたい。

他にも、積極的に学科と学科の架け橋となり、一つの専門に限定せず、二つ目の専門または学位を取得できる単位課程を開設し、卒業生の職場における競争力を高めていければと考える。継続して産業提携に取り組み、業界とも戦略的に協力し合い、学生の実習における実質的な効果を果たし、技能系教育の機能と目的に見合った教育を実践していく。語文学科のもう一つの特色は、人文的な素養を重視することにある。芸文センターを増設し、作品の展示スペースを提供し、更には各種コンテストを開催し、本学部における教師と学生のために芸文豊かな教育と学習環境を提供し、推し進めていく。

### (三) 国際交流を通して国際的視野を広げる：

国際交流においては、本学部は言語を専門としているため、全体的に優位にあるものの、これまで契約を提携し、交流している国外の大学との友好関係を維持するばかりでなく、教師と学生が相互的に交流を交わすことのできる課程ならびに学術活動を継続的に引き合わせ・協議し、新たな大学との関係開拓にも取り組み、目まぐるしく移り変わる時代の趨勢に合わせて、世界の変動を把握していき、学生が国際的ビジョンを広げていけるように大切に培っていきたい。また、自らの区域的な能力に限界を設定することなく、国際交流に積極的に携わり、ソーシャルネットワークを通して、国外の大学生とコミュニケーションをはかり、国境を越えた交流を学習の一部と見なしていくことを学生に薦める。そして、学生に限らず、教師も国外の教師と交流を深め、教育や専門分野の相互理解を推進してもらいたい。

### (四) 四方面の連動ルーツを確立させる：教師・学生・行政職員と業界講師の間の連動

#### 1、知識と技能の向上におけるプロフェッショナルな協力の提供

教師が更に教育に励むことを奨励するとともに、学生に良き学習環境と豊かな知識と高度な技能を提供していきたい。様々な意味で、教師には重要な役割が課せられているため、教育方法ならびに比較的専門的な技能などが必要とされる分野での協力ばかりでなく、教育に関するシンポジウムや国内外の専門家や教育方法の体験享受など、教育のはばを広げるルーツおよび訓練をも提供し、時代の変化とともに変わりゆく社会の要請に応えられるよう補助していく。不定期に教師向けの教育座談会を開催し、教師同士が情報や体験を分かち合い、教師の間のコミュニケーションや交流を広めることで、学部全体の教育に対するモチベーションを向上させて行く。また、本学部は、学生と教師、そして、教師と各行政部署との間の架け橋としての役割も担っており、良き関係を保つ上で協力を惜しまない。

#### 2、多元的な学習環境を学生に提供

本学部では、教師が一方的に学生に専門知識や技能を提供するだけでなく、学生の人文的素養の育成にも重きを置いている。演劇やデザインなど、クリエイティブな発想を実現する環境を提供し、積極的に参加することを促す。特別講座・講演会・コンテストなどのイベントを通して、自ら工夫、潜在的な能力を発掘することにも役立ててほしい。そのほかにも、教師と学生間のコミュニケーション深めるためのクラブ活動を積極的に応援し、教師と学生の交流を増やし、お互いの繋がりを強めていきたい。

### 3、行政職員と教師・業界講師・学生との間のコミュニケーション

大学は小型の社会と喩えられるように、単に学生と教師のみによって成り立っているわけではなく、良き教育環境の提供には、行政職員の協力が必要不可欠でもある。学生と教育を専門とする教師、業界で活躍している講師、そして大学の運営を担う行政職員、それぞれの間の交流の架け橋となり、学生が学習に集中し、教師が教育に専念し、業界講師が足りない部分を補強し、それらを行政職員が補助し、良き学習環境を形作っていけるよう努める。例えば、語文学部によって不定期にイベントなどを開催し、ソーシャルネットワークの土台を建設し、学生と教師、そして行政職員との連携と交流を促す。

本学部における課程は、産業の人材におけるニーズに基づき、社会に適応できる人材を育成していく。また、適時に教育内容を調整し、学科にとどまらない知識の共有を強化し、学生の職場における専門能力および就職の競争力の向上へと繋げていく。もう一方では、業界における専門家によって、本学部の課程に対して査定を行い、課程が効率的かつ有効的に機能するよう心掛ける。課程を充実していくのと同時に、プロフェッショナルライセンスの強化クラスを設置し、積極的に国際的プロフェッショナルライセンスの取得を学生に薦める。そして、教師と業界講師の協力による教育と訓練計画を企画し、実習企業との連携も強め、学生の実習状況と企業側の意見を統合して、より多面的かつ相互的に、教師・業界講師・企業と学生のいずれに対しても有意義であるよう補助する。

#### (五) カルチャー・ギャラリーと学習シミュレーションスペースの設置

語文学部の学生と教師に文化的素養を強める場所を提供するにあたり、人文色豊かな環境の設置にとどまらず、外国語学習の成果を有効に発揮し、国際文化の交流に有利である語文学部の属性を活かして、れるよう、カルチャー・ギャラリーと学習シミュレーションスペースを設置する。また、外国籍の教師を招き、ネイティブスピーチを通して言語だけでなく、その地の文化についても学ばせていく。本学部は、教師による教育ならびに学生の学習意欲を促すため、両者間の交流を強め、双方の間を取り持ち、良き学習環境と風習を作りあげている。このような学習環境のもと、自主的に言語の学習意欲を培い、校舎内にとどまらず、日常生活においても習得した技能を活用できると確信している。

#### (六) メディア連動式デジタルオーディオシステムの導入

本校中正ビルにおける語文学部所轄の教育・研究スペースに、映像通信機能（おおむねイベントキャンパスシネマのようなもの）を設置する計画があり、様々な環境でネット利

用を可能にすることで、メディア連動式デジタルオーディオシステムを導入し、デジタルポスター・録画の放送・インフォメーションの自動アップロードや衛星受信など、インフォメーションオンデマンド（Information on Demand ; IOD）サービスを通じて、インターネットおよび内部のネットワークを通して、IOD サーバーから多くの情報をキャッチすると同時に、メディア連動式デジタルオーディオシステムと連携して、様々な言語教育およびシミュレーション学習に活用していく。

本校における中正ビルには、多くの行政部署の事務室があり、全校に及ぶ広告通知をはじめ、語文学部および各学科が学内外・国内外に放つ交流・教学・講演・イベントなどのインフォメーションの土台となり、直接かつ有効なコミュニケーションの掛け橋としての役割を担い、現場の情報をただちに伝達し、映像通信機能を運用して、国際交流・大学ネットワーク世界ランキング・政策伝達・校務の指示・教師と学生の成果発表・言語学習・ネット会議・各イベントの予告など、様々なインフォメーションを連動して提供し、明確でスピーディーな交流ツールと開放的で透明な情報発信を機能させ、これらの総合的な運用に長け、芸術・文化の素養を兼ね備え、また、パソコンを始めとする先端的な科学技能にも通じた言語専門の人材へと学生を導いていきたい。

## 語文学部の使命とビジョン

### 一、未来への挑戦

台中地区の文化活動を積極的に推し進め、大学における教育と研究を台中地区における人文芸術の発展へと融合させていく。また、長期における展示空間を設置し、定期的に各種展覧会および文化活動を催し、同時に、台中地区とこの地に住む台湾の人々の人文学術領域を高めていきたい。

本学部に所属する教師の高齢化が進み、日本に続いて少子化の問題が押し寄せてくる中、外部の力を借りて、積極的に資源の統合をはかり、更には未来の発展方向を調整していく。そこで、まずは学科と学科、学部と学部、更には、大学と大学との関係を積極的に取り持ち、資源の統合を進め、本学部における組織の効率化を強めていく。継続してビジネス学部・経営学部・デザイン学部・情報流通学部・共通教育センター、そして、看護学部と協力し、多岐多様な課程を開設していく。

次に、課程および教育方法を改め、企業との関係を強め、産学提携と学生の就職率を高める。本学部における課程は、モジュール化・課程化・単位化・ライセンス化の方向に発展させ、学生の就職とライセンスの取得に有利に働くことを目指し、更には卒業製作・実務実習課程、そして、企業との密接な繋がりを強化していく。また、教学卓越プロジェクトの取得に積極的に乗り出し、様々な就職関連課程の開設と各業界におけるプロフェSSIONナルによる、講演または授業を行ってもらおう。教師に対しても、企業に赴いて業界の生態を学び、最新の動態を把握させる。

最後に、永続的な経営に繋がる変革を求める。本学部と本校ならびに他校の力を統合し、研究・論文発表と産学提携に携わるエネルギーを高める。公立学校の提供する庇護は強く広大ゆえ、本学部における業務を進めるうえで、全校教師による自主的な協力を仰ぐとと

もに、時代の変動を洞察し、自己調整と属性転換に努めていきたい。

## 二、使命

- 1、共通意思をもって、本学部における主旨・方針と特色を実践する。
- 2、教師の専門的な素養と研究ならびに産業開発能力を高める。
- 3、学生の基本的素養と核心的な能力の育成。
- 4、学生の専門的な知識と技能を強化し、理論と実用の落差を縮め、学生の職業的競争力を高める。

## 三、ビジョン

- 1、伝統的な美德を教え、人文的素養を高め、遠大なる校訓を実践し、人文による美を体現させる。
- 2、時代の流れを把握し、知識を積極的に求め、創造・多元・統合の専門的な能力と社会に貢献する情熱と能力を有する。
- 3、器が大きく、批判的な思考能力を兼ね備えるよう学生の育成に努め、グローバル化に立ち向かい、一生涯精進に励む。
- 4、グローバル化と本土化を兼ね、地元を根を張り、世界に目を向け、前衛的な研究に携わり、創造性豊かな人文社会の領域に属する人材を培い、社会の多元性および多重性に大きな影響と貢献を捧げる。

## 四、目標

- 1、専門的な能力・批判力ならびにグローバルなビジョンを有する優秀な人材を育成し、社会のニーズに合わせて、社会発展に貢献し、各学科がプロフェッショナルな人材の育成および学生募集の上で学生の第一選択となることを期する。
- 2、人文社会の領域において、基礎性と応用性の研究に従事し、前衛的且つ統合的な学術的ジャンルの開発にも取り組む優秀な語文学部として、アジア地域における関連研究を強化し、欧米諸国家との交流にとどまらず、アジア諸国との協力の場となる。
- 3、国内外における関連領域の交流を拡大し、学生のインターナショナル経験値を強化し、学術提携の質と量を広げていく。

## 五、達成すべき戦略

- 1、より多くの大型研究および産業提携におけるプロジェクトの獲得に乗り出し、教師および学生の定員を増やし、教育スペースと経費の確保を維持していく。
- 2、教育および業界において秀でた人材を積極的に招き入れ、教育と研究における協力を提供する。
- 3、開放的かつ誠実な組織文化を育成し、心暖かく親密な雰囲気醸し出しながら、学科

と学科における連携と交流を強化する。

- 4、教育の品質を保証し、自我を評価監督する機能を働かせて、教育と研究をはじめ、産学提携の定期的な測定を促していく。
- 5、国際的視野および知名度のある学者を招き、本学部の顧問を務めてもらい、本学部の確固たる発展に対して協力を仰ぐ。

#### 六、未来において実現可能とされる行政上の重点特色における発展戦略と未来発展計画

- 1、「立」型の人材を基準に、職場競争力と見なされる言語能力とビジネス知識を兼ね備えた人材を培う。
- 2、多元的な成果を実践し、教師の実績向上と昇格に協力する。
- 3、学生の学習デジタル化履歴を推し進め、入学から就職までの課程における全面的補導を計画する。
- 4、多岐にわたる外部の資源を積極的に取り込み、サービス・クリエイティブとプロフェッショナルの統合価値を体現する。
- 5、国際学術交流とインターナショナル的な学生募集に努める
- 6、学外における専門的な実習を推し進め、言語能力とビジネス知識を兼ね備えた専門性を重んじた小規模型創業に特化した育成システムを構築する。
- 7、社会の発展を率い、社会的ニーズに適うよう、プロフェッショナル且つ批判性とグローバル的視野を兼ね備えた優秀な人材を育成し、本学科の各学部が専門的人材の育成と学生募集において第一志望学部となることを目指す。
- 8、人文社会の領域において基礎的かつ応用的な研究に携わり、前衛的かつ統合性のある学術領域を開拓することで、語文学科の良質を保ち、欧米諸国との交流となる有益な基礎をなすばかりでなく、アジア地域の関連領域において今後協力していく土台となるためにも、アジア地域に関する研究を強化する。